

## 令和4年度 調布市立神代中学校 授業改善推進プラン

## 学校の教育目標

日本国憲法，教育基本法及び学校教育法，東京都教育委員会並びに調布市教育委員会の教育目標等を踏まえ，人間尊重の精神に富み，心身ともに健康で，心豊かで主体的に学ぶ生徒の育成を目指し，次の教育目標を設定する。

- 一 自ら学び，考える人になろう
- 一 礼節を重んじ，思いやりのある人になろう
- 一 骨身惜しまず，働く人になろう
- 一 体を鍛え，健康な人になろう

## 目指す学校像(ビジョン) 例)学校像，教員像，児童・生徒像

## 【目指す学校像】

だれもが生き生きと生活し，安心して通える学校

## 【目指す教師像】

- 人権を何よりも大切にし，人間性豊かな教師  
(誠実で，何事にも真摯に対応し愛情ある教師)
- 自らを律し，行動力，実践力のある教師  
(時間や約束を守り，百の論より一の実践をできる教師)
- 専門性に優れた教師  
(プロとしての指導力や先見力，見抜く力，判断力，研究心をもった教師)

## 【目指す生徒像】

- あいさつができ，素直に「ありがとう」と言える生徒
- 何事にもあきらめず，挑戦する生徒
- 人の心の痛みがわかり，励ましあえる温かい心をもった生徒

ビジョンの設定理由  
(本校の現状と課題)

本校の現状と課題

学校環境；市内の高台に位置し，公立小学校・私立校が隣接している。学区は広い。伝統校であり，宅地化が進み，生徒数の増加が続いている。

生徒；素直で明るく，真面目な生徒が多い。全体的に落ち着いているが，自主性や自律性にやや欠ける面が感じられる。

保護者；学校に対して協力的であり，地域の活動も活発である。同時に本校に対する期待も大きい。

本校の課題

学区が広く，地域限定ではあるが，市内で唯一自転車通学を許可している。安全指導も行っているが，標識などの整備の不十分な箇所もあり常に交通安全への不安がある。今年度より，家庭での自転車保険への加入を確認することを義務づける。

教職員が多く，指示や情報を周知徹底することが不十分なところがある。今後ますます生徒数が増すことが予想され，若手教員も増える中，期待に応える教育活動を展開するために，教員個人の力量を高め，組織的な対応を目指す。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	他者とのコミュニケーションに生かせる豊富な語彙を身に付け、自分の考えを表現する力、相手の意図を理解しやり取りする力を身に付ける。	話し合い活動、スピーチ、文章を書く機会を意図的・段階的に設定する。社会の問題を取り上げ、それに対する考えをもたせる。いろいろな意見を批評できるようにするため、根拠をあげて発表できるようにする。
社会	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を通し、社会的な見方・考え方を育てる。	毎授業において学習のねらいを明確にし、振り返りの機会を設ける。「社会的な見方・考え方」を働かせて、課題解決を図る場面を設定する。
数学	問題解決に必要な情報を生徒自身が集めたり選択したり帰納的に考えたりすることで、きまわりを見付けたり、見出したきまわりを既習内容に生かして説明したりできるようにする。	単元ごとに、説明する問題を設定し、既習事項を生かして説明する機会を設ける。単元の振り返りで、既習事項を整理させ、次の単元とのつながりを意識させる。
理科	自然事物・現象に対する興味関心を高め、基礎的な学力の定着を目指す。また、実験・観察を行い、その結果を分析し解釈し表現できる力を身に付ける。	視聴覚教材を取り入れながら日常生活と学習事項との関わりを説明し、自然事物・現象に対する興味関心を高める。観察・実験の機会を増やし、結果に対する考察を毎回記入させ、各班にまとめさせ、発表させることで思考力・判断力・表現力等を育む。
音楽	合唱や鑑賞等で主体的に音楽の特徴を捉え、表現につなげる力を養う。特に歌唱活動においてより良い作品を作り上げるようこれまで学んだことを生かす力を身に付ける。	基本となる音楽的諸要素と表現活動のつながりに「気づく力」を育成するため、鑑賞のみならず、歌唱・創作・器楽等の中から知識を深めさせる。そこで学んだことを歌唱・器楽に生かし、更に音楽への興味を深めさせる。
美術	自ら主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練ることなどを通じ、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	主題を生み出し、発想や構想を練り、表現活動につなげるために、試行錯誤をする時間を確保し、その方法を学ばせる。ICT機器、学習カードを使い、見直しをもって制作し、調整する力を身に付けさせる。美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めるために鑑賞活動の充実を図る。
保健体育	授業、部活動、行事等を通じ、スポーツや運動に親しむ態度を育成する	安全管理や基礎体力の向上のため、毎時間準備運動・補強運動に取り組む環境をつくる。個人で粘り強く取り組むことやチームで教え合う機会を意図的につくる。
技術・家庭	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。	生徒自身に生活や技術に関心をもたせながら、製作、制作、育成、実習、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な活動を通して、習得した知識・技能が生活の自立につながることに気付かせる学習活動を組み立てる。
外国語 (英語)	ペアやグループでの活動を多く行わせることにより主体的に学ぶ姿勢を養い、英語でコミュニケーションを図るために必要な基礎的な知識・技能を身に付けさせ、思考力・判断力を伸ばす。	ICT機器を活用し、視覚的に理解したりネイティブスピーカーの音に触れたりする機会を増やす。単語や基本文等をスパイラルに扱い、繰り返し学習できるようにする。定期テストだけでなく、小テストやパフォーマンステストを適宜実施し、また振り返りの機会を設けることにより、生徒自身が学びの自己調整をしていけるようにする。
道徳科	調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校が目指す「あいさつ」「挑戦」「相互理解」ができる生徒を育成する。	生命尊重を主題とした「命の授業」を実施する。また、一方向的な価値観の伝達によらない、葛藤資料を活用した「考え議論する道徳」を設定し、生徒が思考する時間を設定する。